

# 「飛ばないテントウムシ」でハウスイチゴの アブラムシを抑制

## 【背景・目的・成果】

- ・ナミテントウはアブラムシ類の有力な天敵ですが、活発に飛び移動するため、ほ場に定着しにくい欠点がありました。
- ・そこで、兵庫県では近畿中国四国農業研究センターが系統選抜した「飛ばないナミテントウ」を用い、ハウスイチゴのアブラムシ防除法を確立しました。
- ・「飛ばないナミテントウ」は生物農薬として登録され、平成26年6月から販売されています。



## 飛ばないナミテントウの特徴

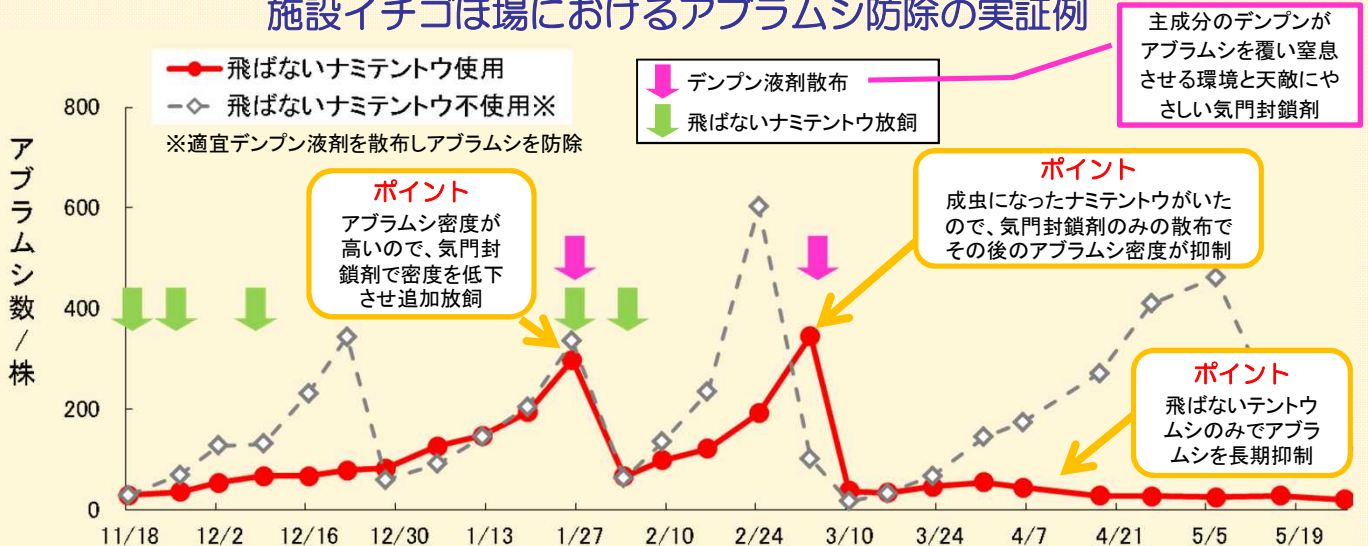
- ・外見は普通のテントウムシと同じだが、飛翔能力が低い系統であるため飛ぶことができず、ほ場に定着しやすい
- ・成虫・幼虫ともアブラムシをよく食べる
- ・飛ばないナミテントウが生んだ子世代も、飛ばずにほ場に定着するため、長期の防除効果が期待できる

## 飛ばないナミテントウの使用方法



- ・専用容器(①)に2齢幼虫200頭がオガクズと共に入っている(②)
- ・容器を軽く振り、側面の穴から幼虫を放飼する(③)

## 施設イチゴほ場におけるアブラムシ防除の実証例



飛ばないナミテントウ放飼と気門封鎖剤(デンペン液剤等)でアブラムシの発生をコントロール

## 【技術の活用】

化学合成殺虫剤に替わる防除手段として有効で、安全・安心な農産物の生産を推進できます。